

この資料は総代交流会にお持ちください

2021 年秋の

総代交流会資料

*開催日、時間は事前にお送りした開催の一覧表でご確認ください。

開催期間 11月10日(水)~11月30日(火)

1. 理事会からの報告

○ 開会挨拶、趣旨説明

- (1)総代の役割や1年間の活動の流れなどを確認します。
- (2)2021 年度方針の重点や課題について報告し、深め合います。
- (3)SDGsの取り組み(エシカル商品)について動画も交えて学びます。

2. 総代同士の交流

総代同士の交流がすすむように、できるだけ参加された方全員お気軽にご発言ください。わたしのお気に入りの生協商品、ふだんのくらしにコープ商品を役立てる知恵、理事会からの報告を受けて感想やもう少し聞きたいこと、初めて知ったこと、今後すすめてほしいことなどいろいろな視点から意見を出しあいましょう。

《新型コロナウイルスへの対応》

総代交流会の開催にあたり、事前に次の留意事項をご確認ください。

1. 開催、参加にあたって

- (1)引き続き感染拡大防止策を守って参加をお願いします。
 - ①必ずマスクを着用の上で参加してください。
 - ②事前に検温、健康チェックを行い体調不良の時は参加を控えてください。
体温 37.5℃以上の場合は参加を見合わせてください。
 - ③託児はございませんのであらかじめご了承ください。
- (2)当日運営へのご協力をお願いします。
 - ①会場では、手指のアルコール消毒を行ってください。
 - ②参加名簿にお名前と連絡先をご記入いただき、保管をさせていただきます。
 - ③お互いの距離を1メートルほど空けるなどして着席してください。
 - ④途中に扉を開けるなど換気の時間を設けます。寒さに応じて服装にご留意ください。

(3)その他

- ①試食品はご用意しておりませんのでご了承ください。
- ②お飲物は各自でご用意をお願いします。

- (4)感染状況によっては、急遽会場の変更や開催中止とさせていただきますことありますのでご了承ください。



1 総代の役割や1年間の活動の流れ

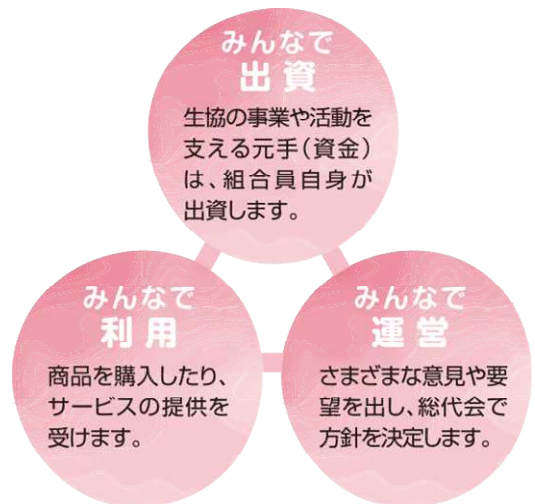
1. 「生協」について

誰もが持っている「くらしからの願い」を一人ひとりが手をつなぎ、力を寄せ合って実現させていくのが生協(生活協同組合)です。

生協の主役は組合員である消費者です。くらしをよりよくしたいという願いを持つ消費者がお金(出資金)を出し合って組合員となり、出資金を元手に展開されるさまざまな事業を利用します。生協の事業や組織運営は、組合員の意見や参加にもとづいて行われます。

コープあいちでは、さまざまな運動にとりくみ、くらしを守り豊かにする事業をひろくすすめています。

生協の事業をすすめるための必要な資金は、みんなが少しずつ寄せ合っています。出資金を預け入れることで組合員になれます。組合員は、コープ宅配やお店、福祉などの事業を利用するほか、商品をみんなでよりよいものに育てていきます。生協は組合員の声をもとに運営されています。意見や要望を反映させるために、さまざまな参加のしくみや機会があります。



2. 「総代」について

生協の運営は、組合員の参加によって成立します。生協を利用するためには、組合員になる必要があります。総代は、組合員の代表として運営に参加します。



総代ってなあに？

愛知県内7つの選挙区ごとに組合員数をもとに按分して定数を決定します。定款により総代の定数は、500人以上550人以内と定めております。

大切なことは組合員全員で決めることが望ましいのですが、コープあいちの組合員数は52万人です。全ての組合員が集まって話し合うことはできません。そこで組合員の代表を選びます。その代表者が「総代」です。

コープあいち定款第48条で「総代は、組合員の代表として、組合員の意思を踏まえ、誠実にその職務を行わなければならない。」としています。組合員の意思を踏まえるということは、自身の価値観と違う考え方もあることを認め合い、組織を維持・発展させ、社会的役割が果たせるように考え合うということです。みんなで意見や感想を話し合います。

総代は、話し合った願いや意見を持ち寄り、よりよい事業や活動をするために総代会に参加し、方針などを決定していきます。



【総代の任期について】

総代の任期については1年とし、再任は妨げないと定められています。

組合員の広がりとともに多様な要望が出され、事業と活動はさらなる進化を続けていきます。

総代となることで生協の多様な事業と活動への理解が広がると同時に、意思決定に参加することで関心もより深まることとなります。

このような総代を多くの人が担い合うことで、より地域には生協の良さやくらしの願いが広がります。生協をより深く理解する人を増やしていくためにも、適切に総代を担い合い、新たな総代を迎えいれましょう。

1年のみの総代では分からないことが多いままで終わってしまうという声も聴かれるため、議論の継続という視点からは一定期間継続されることが望まれますが、最長で10年をめぐりに交代していくことをめざしましょう。

総代を経験されたみなさんの声

- 生協が福祉、環境などいろいろなことに取り組んでいることを知りました。
- コープあいち通信を楽しみに読むようになってあっという間に過ぎました。
- 変化する社会に対して変化しようとする生協の姿勢を感じました。
- 総代が生協の未来を決めるといってもいいと思う。
- 会員数が多ければその思いはさまざまに情報発信と収集が肝心と痛感しました。
- やっとCOOPのことがわかりかけたところです。
- 総代を経験されていない方々が一度でも受けてくださることを期待します。
- 私の小さな意見も聞いてくださりうれしかったです。
- もっともっと生協をPRしてほしいです。
- いろいろな人の意見や考えを知ることができて勉強になりました。



3. 総代会までのプロセスについて

任期は**2021年11月1日～2022年10月31日**までの**1年間**です。



第13回通常総代会への出席(ご予約)をお願いします。

日時: **2022年6月13日(月)10:30~12:40**

場所: **愛知県産業労働センター(ウインクあいち) 大ホール**



総代のみなさんには、11月秋の総代交流会、2月から3月春の総代会議、5月議案検討会などを通じて意見を出していただき、総代会の議案書に反映しながら一緒に作り上げていきます。6月通常総代会では、方針などの各議案を審議していただきます。(当日のご都合がつかない場合には、書面出席や委任出席という方法もあります。)

総代会で決めることは①定款の変更②規約の設定、変更及び廃止③解散及び合併④毎事業年度の予算及び事業計画及び変更⑤出資1口の金額の減少⑥事業報告書及び決算関係書類⑦連合会及び他の団体への加入または脱退などです。

4. 情報媒体について

「コープあいち通信」は、総代向けの情報誌です。

コープあいち全体の活動状況や地域の組合員活動などの情報を伝えたり、総代同士の交流を目的に発行しています。日常的に宅配の場やお店で意見を出したり、コープあいち通信のアンケートをご提出いただくことも大切な総代活動のひとつです。



「総代の部屋」は、Web上でのコミュニケーションツールです。

ホームページ内に、総代の部屋をご用意しています。会議への参加申込や各種資料のダウンロードが可能です。昨年は会議資料を動画にして視聴していただいたり、総代自身がSDGs宣言を写真で撮って投稿するなど活用を広げました。ぜひ総代の部屋への登録をお願いします。



登録ページの URL <https://sodairoom.jp/toroku>

2 2021年度方針の重点や課題の報告

1.重点課題について

- (1)〈お役立ち〉 ～コープあいちのさまざまな事業を通しみんなの想いをつなげます～
- ①食を中心に、生涯を通して暮らしへのお役立ちができる事業をめざします。
 - ②生協のしくみを活かし、行政や地域の諸団体のみなさんとも連携して、安心してらせるまちづくりに貢献します。
- (2)〈SDGs〉 ～組合員・地域のみなさんと一人ひとりができることから始めましょう～
- ①地域での活動を積み重ね、世界の人々とともに、格差や貧困・飢餓のない社会の実現に貢献します。
 - ②ダイバーシティなど、互いに認め合いながら一人ひとりが大切にされる社会をつくります。
 - ③暮らしの中でエシカル消費をすすめます。
 - ④脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現に向けて、暮らしのあり方を見直し、事業を変革します。
 - ⑤被爆・戦争体験の平和への想いを次世代に継承し、世界の人々への発信と対話を広げ、核兵器廃絶と世界平和の実現をめざします。
- (3)〈チャレンジ〉 ～社会の変化に機敏に対応し、のりこえていきます～
- ①食の安全・安心をリードし、いのちと暮らしにかかわるさまざまな分野で、社会的水準を高めるフロントランナーをめざします。
 - ②一人ひとりの暮らしに寄り添いながら、社会の変化に対応し、災害時にもたすけ合い・ささえ合える地域社会をつくります。
 - ③技術の進化を積極的に取り入れながら、情報発信の充実や事業革新にチャレンジします。
- (4)〈みんなの力〉 参加・共感・信頼
- ①人の力
 - ②連帯の力
 - ③願いをカタチにする力

2.分野別の重点課題について

- (1) 宅配事業は、新型コロナウイルス感染対応を基本としつつ、コロナ禍の中で変化する暮らしの要望に応え、利用定着と仲間づくりを推進します。
- (2) 店舗事業は、コロナ禍の不安とともにある暮らしからお一人おひとりの新しい暮らしに向けて、組合員の暮らしの変化に対応できるお店づくりをめざします。
- (3) 福祉事業は、さらにすすむ超高齢社会に向け、事業の拡大や投資、処遇改善が行えるよう、安定した黒字経営をすすめます。
- (4) 暮らしのサポート事業、共済事業は、事業間の連携を活かした情報発信を大切に、気軽に相談でき、暮らしに役立つ存在として取り組みをすすめます。
- (5) 組合員活動は、コロナ禍でもすすめられる組合員活動を組合員と検討し、すすめていきます。
- (6) 管理分野は、リスク対応をし、事業を継続できる組織づくりをすすめます。

3.仲間づくりの取り組みについて

- (1) 3万人(宅配27000人、店舗3000人)の加入を目標に取り組んでいます。
- (2) チラシまきや法人訪問等(法人利用や職場利用のご案内)を行いました。
- (3) テレビCMの放映やWebを活用してコープあいちの認知度を高める取り組みをすすめています。
- (4) 職員どうして良かった事例や課題を共有しながらすすめています。
- (5) アンバサダー、インスタグラマーの投稿から資料請求につなげました。
※アンバサダー、インスタグラマーはWeb上にファンの方を多数持つ影響力のある方々のことです。



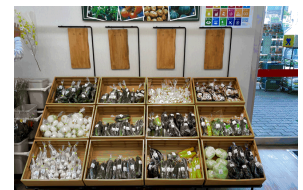
4.コープ宅配の取り組みについて

- (1) 新しく加入した方で、まだ予約登録をされていないみなさんへDMチラシを配布し、1,381名が新たに予約登録をされました。
- (2) e-フレンズ登録は、お届けする商品案内へのセットや加入時に登録案内をすすめました。OCR注文用紙の発行停止とe-フレンズ利用によるポイント還元も行いました。
- (3) ポイントサービスは、「消費税率10%の商品利用の際にもポイントを使用できる」ようにしくみを改善しました。



5.店舗の取り組みについて

- (1) 損益改善の取り組みは、企画見直し、商品管理がすすみ、19年度比GPR1.2%改善がすすんでいます。※GPRは粗利益率のことです
- (2) 品揃えでは、地場野菜の強化や宅配の人気商品を導入し商品普及につなげています。
- (3) コープ市や10周年記念企画、ラッキーサンデー10などに取り組む、コープ商品の価値を広めています。
- (4) 業務改善として、中型店から自動発注システムの運用を開始し22年4月には小型店導入をめざしています。
- (5) コープいわくらは、対策店として2年目です。特別対策店会議を開催し、組合員・ブロック・店舗事業本部と一体となって対策をすすめています。



6.福祉の取り組みについて

- (1) 利用者人数は、コロナ禍による利用控えの影響がありましたが、事業収入は、介護度ごとに目標を持って取り組み増加しました。
- (2) 新しく導入した新介護システムで報酬改定などを実施し、運用を軌道にのせています。
- (3) 生協10の基本ケア実践に取り組む、日々の学習や集合研修も実施しています。
- (4) 担い手の確保として介護職員初任者研修を行い、修了者へコープあいちでの就労を働きかけています。ウェルカム研修、5年目研修などを開催し職員育成に努めています。



7. 組合員活動の取り組みについて

- (1) 虹の会主催によるオンライン学習会を開催しています。終了後にはHPに動画をアップしてご覧いただけるようになります。
- (2) モニター制度として、各ブロックで100名公募しました。700名のみなさんから声をいただき商品普及につなげています。
- (3) 開発商品は、「愛知県産小麦のデニッシュ」がデビューしました。また、エシカル消費として、組合員と一緒に「SDGsエシカルチャレンジ2021」に取り組みました。
- (4) 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」の取り組みや「平和行進のアピール活動」に取り組みました。
- (5) 「組織運営方針・参加と運営のしくみ」見直し議論と「<支援>組合員参加を支援する制度・しくみ等」の充実を検討しています。



- ① 「柱1 利用を通じて声を出すしくみ」では、宅配の組合員モニター制度や店舗でのLINEアンケートなど実施しています。宅配事業の「くらしと共同購入委員会」、店舗事業の「くらしとお店委員会、店舗運営委員会」について相談をすすめています。
- ② 「柱2 身近な地域で関心に基づいて組合員活動に参加するしくみ」では、ブロック連絡会で詳細について話し合っています。地域でコープグループをたくさん作り、ブロック協議会で地域のお困りごとなどを話し合い理事会に声を伝えていくことなど組合員活動の広がりをめざしてすすめています。
- ③ 「柱3 意思決定に参加するしくみ(総代制)」では、1期2期目の総代のみなさんは協同組合の意義などの学習や動画作成(総代の部屋を充実する)、総代限定企画で商品モニターを実施するなどすすめています。

8. 管理分野の取り組みについて

- (1) 事業継続の安定化のために、職員の高齢化への対応など今後の課題を整理しながら新しい制度づくりに取り組んでいます。
- (2) ダイバーシティの推進や安全運転教育の再構築のために、職員がプロジェクトチームを作って具体化をすすめています。
- (3) BCP(事業継続計画)は、地震発生時の対応強化と風水害版のマニュアル策定をすすめています。訓練をとおしてみえてくる課題から見直しを行っていきます。
- (4) 収益認識会計基準への対応について、各事業責任者と経理部門で学習会を行い認識を共有しながら、それぞれの役割変更など準備をすすめています。

資料

自由脱退と減資について

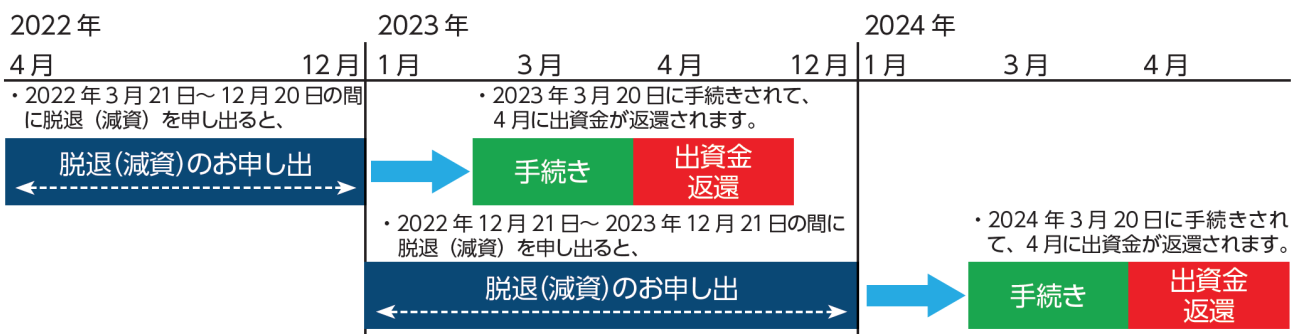
生協法第 19 条は、「組合員は、90 日前までに予告し、事業年度の終わり(3 月 20 日)において脱退することができる」

と定めています。これに沿って、自由脱退や減資の手続きは事業年度の終わりにおいて行うことが求められました。

現状は随時受け付けていますが、2022 年度より、法令に沿った手続きができるようにしています。

* 「自由脱退」とは、例えば県内への転居や、組合員の意思で生協を利用しなくなったことによる脱退のことで、「法定脱退」以外の脱退を指します。(法定脱退とは、県外への転居や、組合員ご本人の死亡、除名による脱退のことです。法的に組合員の資格を失うため、法定脱退と呼ばれています。)

* 「減資」とは、生協に預けた出資金の額を減少させることです。



3 経営のようす

1.上半期の結果について(3月21日から9月20日まで)

	金額	予算比	前年比	19年度比
コープ宅配	250億86百万円	106.6%	98.2%	118.4%
店舗	47億98百万円	101.2%	91.7%	100.2%
福祉事業収入	11億91百万円	99.6%	101.5%	103.4%
総事業高	326億28百万円	105.5%	97.7%	114.3%
事業総剰余金	75億53百万円	107.2%	97.5%	114.7%
事業経費	67億50百万円	98.3%	103.0%	102.9%
経常剰余金	9億30百万円	6億36百万円	△3億28百万円	8億1百万円

2.各分野の結果について

- (1)宅配は供給高250億86百万円となり、予算を達成しました。前年比較では、稼働日数が前年より1日増えた状況で98.2%となり、1.8%の減少でした。利用が急拡大した前年実績には及びませんでしたが、高い水準を維持しています。19年度比較では18.4%の伸長でした。
- (2)店舗は供給高47億98百万円となり、予算を達成しました。前年比較では91.7%となり、8.3%の減少でした。価格競争や前年の買い溜め需要の反動などにより、宅配事業よりも減少幅が大きくなっています。店舗別では18店舗中10店舗が予算を達成しましたが、前年を超過した店舗はありませんでした。19年度比較では0.2%の伸長(植田山を除くと1.8%の伸長)となり、コロナ前の水準を上回りました。
- (3)福祉は事業収入11億91百万円となり、予算を僅かに下回りました。報酬改定や加算取得などで収入確保に取り組みましたが、コロナ禍の中で利用人数が伸び悩んだことが影響しました。前年比較では1.5%の伸長、19年度比較では3.4%の伸長でした。

4 商品学習と交流(SDGsの取り組み)

1.持続可能な開発目標(SDGs)とは？

2015年9月、国連では「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が150を超える加盟国首脳に参加のもと採択されました。

この中で先進国と開発途上国が共に取り組むべき国際社会全体の普遍的な目標として持続可能な開発目標(SDGs)17のゴールと169のターゲットが掲げられました。



2.総代会では2030年にめざす姿(ビジョン)として、SDGsに沿った取り組みをさらにすすめることを確認しました。

2021年度総代会では、10年のあゆみを踏まえて次の10年にめざしたいこととして、6つの項目を掲げて具体的に取り組むことを確認しました。

めざす姿 私たちがめざしてきたことを、SDGsに沿ってさらにすすめます

コープあいち、組合員との絆を大切に、地域とのつながり、行政との連携、これまでSDGsに関わる課題に取り組んできました。誰も取り残さないとい「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の理念を大切に、安心してく

り合い・生産者などさまざまな取引先との連携を「力」にしながら、SDGsのめざすものは、協同組合の理念と重なり合っています。らせる持続可能な社会の実現に向けて、これからも共に歩んでいきましょう。

10年のあゆみを踏まえて、次の10年にめざしたいこと

消費行動や暮らしのあり方を見直しながら、持続可能な食の循環を発展させます

- 「つくる責任」と「つかう責任」の好循環を築き、「あいちを食べよう日本の食をたいせつに大運動」やエシカル消費などを推進し、生産と消費の笑顔につながる事業・活動をすすめます。
- 誰もが住み慣れた地域で生涯健康に暮らし続けられるよう「おいしく・楽しく・食べよう!!」をテーマに食と健康の取り組みを推進します。

地球温暖化対策に積極的に取り組み大切な地球を未来の子どもたちへ引き継ぎます

- 2030年のCO2排出削減目標に対する具体的な実行プランを作成し、事業と活動を通して子どもたちの笑顔ある暮らしをめざします。
- 環境方針の4つの柱に沿った実践と、さらなる研究をすすめます。

誰もが健康で心豊かに安心して暮らせる地域社会づくりをすすめます

- 福祉事業や助け合いの活動、生活サポート事業を通じて、地域の暮らしに貢献します。
- 事業や活動のインフラを活用し誰一人取り残さず、おたがいを認め合い、助け合える地域の居場所づくりを広げます。
- 行政や地域の諸団体と一緒に活動をすすめます。

飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します

- 誰一人取り残さない世界をめざして、世界が抱える問題についての理解を深め、助け合いの精神を貫き、ユニセフ活動やさまざまな募金活動等に取り組む、子どもたちを支援します。
- 「貧困」の連鎖をなくしていくために、子どもの貧困について学び、話し合う活動を広げ、フードバンクなどの取り組みをすすめます。

多様な人々の共生、おたがいを理解し合える社会づくりに貢献します

- 老若男女、多様な人々がおたがいを思いやれる地域社会をめざします。
- 組合員と職員が生き生きとチャレンジできるコープあいちをめざします。

核兵器廃絶と世界平和の実現をめざし、次世代へ継承します

- 「核なき世界」の実現のために、世界の人々と手を携えて、核兵器を廃絶し、平和な社会をめざす取り組みをすすめます。
- 次の世代に被爆・戦争体験を継承します。
- 全国生協のスローガンである「平和とよりよい生活のために」のもと一人ひとりが参加できる活動のあり方をつくりあげます。

SDGsの17番目の目標は「パートナーシップ」です。あらゆる課題を解決するためには、協同の力が不可欠です。

3.総代交流会では、商品活動を通してSDGsの取り組みを交流します

- (1) 総代会では、2030年ビジョンの達成に向けて、第4次中期方針(2021年～2023年)もあわせて確認しました。
- (2) 本日はここにクローズアップして学習と交流の時間を持ちます。虹の会の動画を活用しながら、商品の特徴を共有し生協商品のこだわりやよさを実感いただきます。

お役立ち・SDGs・チャレンジ
ありたい姿 めざすものを実現するために3つのこととみんなの力を大切にします

みんなの想いをつなげよう!
 お役立ち
 ●食を中心に、生涯を通じてくらしへのお役立ちができる事業をめざします。
 ●生協のしくみを生かし、行政や地域の諸団体みなさんとも連携して、安心してくらするまづくりにも貢献します。

一人ひとりができることから始めよう!
 SDGs
 ●地域での活動を積み重ね、世界の人々と共に、格差や貧困・飢餓のない社会の実現に貢献します。
 ●ダイバーシティ*など、たがいに認め合いながら、一人ひとりが大切にされる社会をつくります。
 ●くらしの中でエシカル消費をすすめます。
 ●脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会の実現に向けて、くらしのあり方を見直し、事業を革新します。
 ●被爆・戦争体験と平和への想いを次世代に継承し、世界の人々への発信と対話を広げ、核兵器廃絶と世界平和の実現をめざします。
*多様性、性別・国籍・人種・年齢などさまざまな違いを誇り多様な人々を認め合うこと。

みんなの力 参加・共感・信頼
人の力
 ●組合員が主人公、おしごと・たのしみ・うれしさを感じられる生協!
 ●職員が誇りとやりがいを感じながら働き続けられる職場をつくります。
参加
共感
信頼
連帯の力
 ●みんながかかわることで実現する力!
 ●生産者・メーカーとの協力・連携を大切にパートナーシップを高め、よりよいくらしを実現します。
願いをカタチにする力
 ●「こうだったらいいな!」が、カタチになる生協!
 ●かかわりたい、参加したいと思える生協にします。

チャレンジ あらゆる社会の変化をのりこえよう!
 ●食の安全・安心をリードし、いのちとくらしに関わるさまざまな分野で、社会的水準を高めるフロントランナー*をめざします。
 ●一人ひとりのくらしに寄り添いながら、社会の変化に対応し、災害時にも助け合い支え合える地域社会をつくります。
 ●技術の進化を積極的に取り入れながら情報発信の充実や、事業革新にチャレンジします。
*よりよいくらしと社会をつくるために切り続く存在。

商品活動とSDGsの取り組み

- ・2030年ビジョンの達成に向けて、第4次中期方針(2021年～2023年)を掲げています。
- ・本日はここにクローズアップして学習と交流の時間を持ちます。

SDGs
 ～組合員・地域のみなさんと一人ひとりが
 できることから始めましょう～

3 くらしの中でエシカル消費をすすめます

- 「おいちを食べよう日本の食をたいせつに!大運動」のさらなる広がりを通じて、産地とのコミュニケーションを深め、地元の農業を支援し普及をすすめます。
- 飼料米やエコフィード(食品残さなどを利用して製造された飼料)など資源循環の推進を通じて食糧自給率の向上と県内の生産の拠点を守る取り組みをすすめます。
- コープ商品の普及を通し、地域、環境、社会、人々の視点でのエシカル消費を広げ、みんなの笑顔につながるお買い物物を推進します。

商品学習ビデオ